

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 日東電工株式会社
 コード番号 6988 URL <http://www.nitto.com/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略統括部長 (氏名) 山下 潤 TEL 06-7632-2101
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	623,373	△0.0	89,588	8.8	89,182	9.2	70,722	24.2	70,437	23.8	59,591	△34.9
27年3月期第3四半期	623,614	10.5	82,365	46.7	81,693	49.4	56,922	48.6	56,891	49.2	91,517	40.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	426.44	425.84
27年3月期第3四半期	344.68	344.07

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	863,056	652,874	649,273	75.2
27年3月期	855,433	615,776	612,016	71.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	55.00	-	65.00	120.00
28年3月期	-	70.00	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	810,000	△1.8	110,000	3.1	110,000	3.8	86,000	10.2	86,000	10.4	520.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	173,758,428株	27年3月期	173,758,428株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	8,569,378株	27年3月期	8,614,484株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	165,177,335株	27年3月期3Q	165,058,191株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

第一部（参考）平成28年3月期第3四半期（3ヶ月）の連結業績
 （平成27年10月1日～平成27年12月31日）

（百万円未満切捨て）
 （％表示は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	207,636	△9.8	29,427	△25.1	29,481	△24.6	24,287	△8.3	24,207	△8.1	25,003	△47.9
27年3月期第3四半期	230,097	15.5	39,276	80.9	39,117	86.8	26,484	77.5	26,333	77.5	48,027	49.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	146.55	146.35
27年3月期第3四半期	159.50	159.23

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	6
3. 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2015年4月1日～2015年12月31日)における経済環境は、期前半においては欧米を中心とした堅調な需要回復に支えられ推移しました。しかし、期後半に入ると米国の利上げ、中国経済の減速、資源価格の下落、更には欧州や中東での地政学的リスク等、不透明感が一気に高まりました。国内においては、個人消費は底堅いものの、円安効果が一巡して輸出は弱含んで推移しました。

このような経済環境のもと、日東電工グループは、エレクトロニクス業界における競争力あるポジションを維持しながら、グリーン(環境関連)・クリーン(新エネルギー)・ファイン(ライフサイエンス)の新領域での成長戦略を推進し、当第3四半期連結累計期間の利益において過去最高を更新しました。エレクトロニクス業界向けでは、液晶用光学フィルムやプリント回路が、顧客の生産調整の影響を受けたものの、インダストリアルテープ事業では「三新活動(新用途開拓、新製品開発、新需要創造の三つの新を掲げた固有のマーケティング活動)」によるグローバルな事業展開で好調に推移しました。加えて、メディカル事業における核酸医薬受託合成が順調に拡大しました。また、中長期的な視点で取り組んでいる分子標的DDS(ドラッグ・デリバリー・システム)技術を用いた肝硬変治療薬では、治験の中間結果に基づき米国FDA(食品医薬品局)よりファスト・トラック(優先承認審査制度)の指定を受けました。2016年1月11日には、米国に創薬専門の新会社(Nitto BioPharma, Inc.)を設立することにより、将来の更なる事業化の促進を図り、当局からの支援も受けながら、患者様へできるだけ早く提供できるよう、引き続き取り組んでまいります。

以上の結果、売上収益は前年同期と比較し0.0%減(以下の比較はこれに同じ)の623,373百万円となりました。また、営業利益は8.8%増の89,588百万円、税引前四半期利益は9.2%増の89,182百万円、四半期利益は24.2%増の70,722百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は23.8%増の70,437百万円となりました。

セグメント別の業績概況

① インダストリアルテープ

エレクトロニクス業界向けは、ハイエンドスマートフォン用両面粘着テープのように前年度の部材供給が逼迫していた製品は、顧客の部材取り込みが期前半に集中しました。他方、防水・通音機能材料のように好調な需要が継続している製品もありました。このようにまだら模様の市況でしたが、市況変化に柔軟に対応することで、全体では堅調に推移しました。自動車業界向けは、グローバル生産台数が前年同期比で微増に留まりましたが、日米における三新活動の成果や米国でのオペレーション効率アップで高い成長を継続しました。航空機業界向けは、防湿や防錆テープを中心に堅調に推移しました。また、工業用途全般に使用される汎用性の高い両面粘着テープは、家電やOA機器向けに国内や南アジアで堅調に推移しました。

以上の結果、売上収益は248,693百万円(5.8%増)、営業利益は23,092百万円(51.8%増)となりました。

② オプトロニクス

情報機能材料では、スマートフォンやテレビ向け光学フィルムが、期前半は好調に推移したものの、期後半に液晶パネルの生産調整が始まり、影響を受けました。タッチパネル用透明導電性フィルムでは、特にタブレットPC向けの需要が一時的なものに終わりました。これらにより情報機能材料全体としては、想定よりも伸び悩みました。プリント回路は、中国系スマートフォンの需要低迷が継続し、低調に推移しました。半導体製造の後工程で主に使用されるテープであるプロセス材料では、ハイエンドスマートフォンの需要拡大に対応すると同時に、新規顧客向けにテープ貼り合わせ装置の拡販を行うなどしました。

以上の結果、売上収益は365,957百万円(6.1%減)、営業利益は62,002百万円(8.1%減)となりました。

③ メディカル&メンブレン

メディカル(医療関連材料)では、国内の経皮吸収型テープ製剤がジェネリック医薬品促進の影響を受けました。一方、核酸医薬の開発が世界的に活発になってきており、受託合成の需要が持続的に高まりました。米国に加え、日本でも同事業を開始しており、全体としては好調に推移しました。メンブレン(高分子分離膜)は、景気減速の影響が一部で見られた中国市場を除いて、海水淡水化プラントや海上油田等で収益性の高い案件を着実に受注することで好調に推移しました。

以上の結果、売上収益は39,020百万円(32.9%増)、営業利益は7,422百万円(668.3%増)となりました。

(参考) セグメント別の状況 (9ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	152,198	157,309	103.4
	自動車材料	82,846	91,384	110.3
	計	235,044	248,693	105.8
	営業利益	15,209	23,092	151.8
オプトロニクス	情報機能材料	317,119	306,565	96.7
	プリント回路	55,031	41,914	76.2
	プロセス材料	17,518	17,477	99.8
	計	389,669	365,957	93.9
	営業利益	67,431	62,002	91.9
メディカル&メンブレン	メディカル	11,601	16,705	144.0
	メンブレン	17,753	22,314	125.7
	計	29,355	39,020	132.9
	営業利益	966	7,422	768.3
全社・消去	売上収益	△30,455	△30,297	—
	営業利益	△1,241	△2,928	—
合計	売上収益	623,614	623,373	100.0
	営業利益	82,365	89,588	108.8

※ 第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。前第3四半期連結累計期間数値は、当該変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (3ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期連結会計期間 (自 2014年10月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	55,437	53,324	96.2
	自動車材料	29,336	30,456	103.8
	計	84,774	83,781	98.8
	営業利益	6,178	7,747	125.4
オプトロニクス	情報機能材料	119,864	99,652	83.1
	プリント回路	20,605	14,285	69.3
	プロセス材料	5,790	5,593	96.6
	計	146,259	119,530	81.7
	営業利益	31,829	19,898	62.5
メディカル&メンブレン	メディカル	3,874	6,675	172.3
	メンブレン	6,731	7,582	112.6
	計	10,606	14,257	134.4
	営業利益	601	3,348	556.7
全社・消去	売上収益	△11,542	△9,932	—
	営業利益	667	△1,566	—
合計	売上収益	230,097	207,636	90.2
	営業利益	39,276	29,427	74.9

※ 第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。前第3四半期連結会計期間数値は、当該変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (年度予想)

(単位: 百万円 比率: %)

		当連結会計年度 (今回予想) (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	
		売上収益	前年同期比
インダストリアルテープ	基盤機能材料	206,400	101.7
	自動車材料	123,600	108.7
	計	330,000	104.2
	営業利益	29,200	137.7
オプトロニクス	情報機能材料	392,200	94.9
	プリント回路	53,765	73.4
	プロセス材料	24,035	105.5
	計	470,000	92.3
メディカル&メンブレン	営業利益	72,000	82.3
	メディカル	24,100	147.1
	メンブレン	29,900	122.3
	計	54,000	132.3
営業利益	10,800	448.7	
	営業利益	10,800	448.7
全社・消去	売上収益	△44,000	—
	営業利益	△2,000	—
合計	売上収益	810,000	98.2
	営業利益	110,000	103.1

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は7,623百万円増加し、863,056百万円となり、負債合計は29,473百万円減少し、210,182百万円となりました。また、資本合計は37,097百万円増加し、652,874百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の71.5%から75.2%になりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が21,963百万円増加し、売上債権及びその他の債権が11,447百万円減少、その他の金融資産が2,037百万円増加、金融資産が2,269百万円減少、無形資産が1,431百万円減少しました。負債では、仕入債務及びその他の債務が4,403百万円、未払法人所得税等が11,437百万円、その他の金融負債が6,142百万円、その他の流動負債が5,264百万円、それぞれ減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降の経済動向は、米国景気の持続が期待されるものの、中国経済の減速、欧州・中東での地政学的リスク、資源産出国を中心とした新興国の景気低迷等、先行きの不透明感は引き続き高いものと思われまます。当社グループの主力であるエレクトロニクス業界においては、第3四半期の期後半から生産調整が始まり、第4四半期においても継続する見込みです。これらの状況を反映して2016年3月期通期連結業績予想を見直しました。なお、第4四半期以降の為替レートについては、1米\$=118円を前提としています。

2016年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2015年4月1日から2016年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	870,000	120,000	120,000	88,700	88,700	537.11
今回修正予想 (B)	810,000	110,000	110,000	86,000	86,000	520.62
増減額 (B-A)	△60,000	△10,000	△10,000	△2,700	△2,700	—
増減率 (%)	△6.9	△8.3	△8.3	△3.0	△3.0	—
(ご参考) 前期実績 (2015年3月期)	825,243	106,734	105,947	78,028	77,876	471.75

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	214,559	236,523
売上債権及びその他の債権	191,074	179,626
棚卸資産	93,448	92,696
その他の金融資産	7,726	9,763
その他の流動資産	12,437	12,573
流動資産合計	519,246	531,182
非流動資産		
有形固定資産	268,601	267,511
のれん	2,966	2,791
無形資産	12,837	11,405
持分法で会計処理されている投資	284	280
金融資産	12,737	10,467
繰延税金資産	30,231	31,075
その他の非流動資産	8,527	8,341
非流動資産合計	336,186	331,873
資産合計	855,433	863,056

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	108,110	103,706
社債及び借入金	6,185	4,547
未払法人所得税等	20,337	8,899
その他の金融負債	20,445	14,302
その他の流動負債	42,340	37,076
流動負債合計	197,420	168,532
非流動負債		
社債及び借入金	3,000	3,000
その他の金融負債	1,364	723
確定給付負債	34,042	34,692
繰延税金負債	566	437
その他の非流動負債	3,262	2,796
非流動負債合計	42,236	41,649
負債合計	239,656	210,182
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	56,761	56,686
利益剰余金	508,564	557,531
自己株式	△31,232	△31,073
その他の資本の構成要素	51,139	39,344
親会社の所有者に帰属する持分合計	612,016	649,273
非支配持分	3,760	3,601
資本合計	615,776	652,874
負債及び資本合計	855,433	863,056

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
売上収益	623,614	623,373
売上原価	435,909	425,277
売上総利益	187,704	198,095
販売費及び一般管理費	88,933	87,562
研究開発費	21,004	24,257
その他の収益	12,102	5,953
その他の費用	7,503	2,640
営業利益	82,365	89,588
金融収益	551	918
金融費用	790	1,325
持分法による投資損益 (△は損失)	△432	1
税引前四半期利益	81,693	89,182
法人所得税費用	24,771	18,459
四半期利益	56,922	70,722
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	56,891	70,437
非支配持分	31	285
合計	56,922	70,722
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	344.68	426.44
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	344.07	425.84

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
四半期利益	56,922	70,722
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	713	109
確定給付債務の再測定額	△992	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	35,179	△11,528
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△323	293
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	18	△5
その他の包括利益合計	34,594	△11,131
四半期包括利益合計	91,517	59,591
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	91,160	59,469
非支配持分	356	122
合計	91,517	59,591

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2014年4月1日残高	26,783	56,958	450,741	△31,746	18,647	521,385	3,167	524,552
四半期利益	—	—	56,891	—	—	56,891	31	56,922
その他の包括利益	—	—	—	—	34,269	34,269	325	34,594
四半期包括利益合計	—	—	56,891	—	34,269	91,160	356	91,517
株式報酬取引	—	△21	—	—	—	△21	—	△21
配当金	—	—	△17,328	—	—	△17,328	△66	△17,395
自己株式の変動	—	△9	—	512	—	503	—	503
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	△992	—	992	—	—	—
その他の増減額	—	△214	—	—	—	△214	187	△27
所有者との取引額等 合計	—	△245	△18,321	512	992	△17,061	120	△16,940
2014年12月31日残高	26,783	56,712	489,311	△31,233	53,909	595,484	3,644	599,129

当第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2015年4月1日残高	26,783	56,761	508,564	△31,232	51,139	612,016	3,760	615,776
四半期利益	—	—	70,437	—	—	70,437	285	70,722
その他の包括利益	—	—	—	—	△10,968	△10,968	△163	△11,131
四半期包括利益合計	—	—	70,437	—	△10,968	59,469	122	59,591
株式報酬取引	—	△14	—	—	—	△14	—	△14
配当金	—	—	△22,297	—	—	△22,297	△252	△22,549
自己株式の変動	—	△3	—	159	—	156	—	156
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	826	—	△826	—	—	—
その他の増減額	—	△57	—	—	—	△57	△28	△86
所有者との取引額等 合計	—	△74	△21,470	159	△826	△22,212	△281	△22,493
2015年12月31日残高	26,783	56,686	557,531	△31,073	39,344	649,273	3,601	652,874

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	81,693	89,182
減価償却費及び償却費	34,078	36,481
確定給付負債の増減額	△6,300	859
売上債権及びその他の債権の増減額	△25,792	6,514
棚卸資産の増減額	△3,838	△1,349
仕入債務及びその他の債務の増減額	17,353	△2,146
利息及び配当金の受入額	470	815
利息の支払額	△684	△411
法人税等の支払額又は還付額	△14,644	△32,365
その他	△3,339	△436
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,996	97,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△38,118	△45,972
定期預金の増減額	545	△2,053
投資有価証券の売却による収入	—	1,798
その他	341	147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,232	△46,079
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	1,533	△781
長期借入金の返済による支出	△2	△590
社債の償還による支出	△50,000	—
自己株式の増減額	392	△6
配当金の支払額	△17,328	△22,297
その他	△66	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,472	△23,928
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	15,462	△5,171
現金及び現金同等物の増減額	△8,246	21,963
現金及び現金同等物の期首残高	203,446	214,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	195,200	236,523

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2014年4月1日 至2014年12月31日)

(単位: 百万円)

	インダスト リアルテー プ	オプトロニ クス	メディカル &メンブレ ン	合 計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	218,123	376,847	27,547	622,518	1,095	623,614
セグメント間の売上収益	16,921	12,822	1,807	31,551	△31,551	—
セグメント売上収益合計	235,044	389,669	29,355	654,069	△30,455	623,614
営業利益合計	15,209	67,431	966	83,607	△1,241	82,365
金融収益						551
金融費用						△790
持分法による投資損益 (△は損失)						△432
税引前四半期利益						81,693

(注) 第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用の配賦方法を変更しております。前第3四半期連結累計期間数値は、当該変更を反映した数値を記載しております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

当第3四半期連結累計期間(自2015年4月1日 至2015年12月31日)

(単位:百万円)

	インダスト リアルテー プ	オプトロニ クス	メディカル &メンブレ ン	合 計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	234,223	352,189	35,936	622,350	1,023	623,373
セグメント間の売上収益	14,469	13,767	3,083	31,320	△31,320	—
セグメント売上収益合計	248,693	365,957	39,020	653,671	△30,297	623,373
営業利益合計	23,092	62,002	7,422	92,517	△2,928	89,588
金融収益						918
金融費用						△1,325
持分法による投資損益 (△は損失)						1
税引前四半期利益						89,182

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

(重要な後発事象)

該当事項はありません。